

スコアシート		基本設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40		-	3.0
1	音環境					-	0.15	2.8	1.00	2.8
	1.1 室内騒音レベル			—		-	-	3.0	0.50	
	1.2 遮音					-	-	2.6	0.50	
	1	開口部遮音性能		T-2以上を採用		-	-	5.0	0.30	
	2	界壁遮音性能		—		-	-	1.0	0.30	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		-	-	1.0	0.20	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20	
	1.3 吸音			—		-	-	1.0	-	
2	温熱環境					-	0.35	2.4	1.00	2.4
	2.1 室温制御					-	-	3.0	0.50	
	1	室温		—		-	-	3.0	0.63	
	2	外皮性能		—		-	-	3.0	0.38	
	3	ゾーン別制御性		—		-	-	-	-	
	2.2 湿度制御			—		-	-	3.0	0.20	
	2.3 空調方式			—		-	-	1.0	0.30	
3	光・視環境					3.0	0.25	3.3	1.00	3.2
	3.1 昼光利用					3.0	1.00	4.0	0.30	
	1	昼光率		2.0%≦昼光率		-	-	5.0	0.50	
	2	方位別開口		—		-	-	3.0	0.30	
	3	昼光利用設備		—		3.0	1.00	3.0	0.20	
	3.2 グレア対策					-	-	3.0	0.30	
	1	昼光制御		—		-	-	3.0	1.00	
	3.3 照度			—		-	-	3.0	0.15	
	3.4 照明制御			—		-	-	3.0	0.25	
4	空気質環境					4.0	0.25	4.1	1.00	
	4.1 発生源対策					4.0	1.00	4.0	0.63	
	1	化学汚染物質		建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
	4.2 換気					-	-	4.3	0.38	
	1	換気量		換気量の1.4倍以上となっている		-	-	5.0	0.33	
	2	自然換気性能		居室床面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保		-	-	5.0	0.33	
	3	取り入れ外気への配慮		—		-	-	3.0	0.33	
	4.3 運用管理					-	-	-	-	
	1	CO ₂ の監視		—		-	-	-	-	
	2	喫煙の制御		—		-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.4
1	機能性					3.8	0.40	4.2	1.00	4.1
	1.1 機能性・使いやすさ					4.0	0.40	5.0	0.60	
	1	広さ・収納性		—		-	-	3.0	-	
	2	高度情報通信設備対応		各住戸にGbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境が整備されている		-	-	5.0	1.00	
	3	バリアフリー計画		バリアフリー新法の最低限のレベルを満たしている		4.0	1.00	-	-	
	1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	3.0	0.40	
	1	広さ感・景観		—		-	-	3.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース		—		-	-	-	-	
	3	内装計画		No.1【アートのレジデンスの創出】をコンセプトにかかげ、開拓や成長を意味するDevelop(デベロッパ)をテーマに相模原の大地から力強く成長する木々をイメージとした計画 No.3 基本照明を中心に開放的な空間づくり No.4 内観パースによる内装計画の事前検討を実施		4.0	1.00	3.0	0.50	
	1.3 維持管理					3.5	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を採用		4.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		—		3.0	0.50	-	-	
2	耐用性・信頼性					3.1	0.30	-	-	3.1
	2.1 耐震・免震・制震・制振					3.2	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		防振ゴムを採用		4.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数		—		3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		—		2.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		リビングダイニング:フローリングt12(置床H130) 壁ビニールクロス張り(PBt12.5) 天井ビニールクロス張り(PBt9.5)		5.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		—		3.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		—		3.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		—		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		—		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		—		3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性				2.6	0.30	3.1	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり				-	-	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	2.9m以上、3.0m未満		-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	—		-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			—	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性				2.6	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	—		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	—		1.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保	—		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)					—	0.30	-	-	2.8
1	生物環境の保全と創出			—	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮			—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		—	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	3.1
LR1 エネルギー					—	0.40	-	-	3.1
1	建物外皮の熱負荷抑制			—	2.0	0.20	-	-	2.0
2	自然エネルギー利用			—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化			BEI=0.83、LED照明設備を導入している	3.7	0.50	-	-	3.7
	集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
	集合住宅の評価				3.7	1.00	-	-	
4	効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		—	-	-	-	-	
	集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル					—	0.30	-	-	3.0
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水		節水コマに加えて、節水型便器も採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1	材料使用量の削減		—	2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		—	2.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		No.1 軽鉄採用にて、躯体と仕上材が容易に分別可能になっている No.2 GL工法を採用している	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		PRTR法に該当しない建材種別が1つある	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤		—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境					—	0.30	-	-	3.1
1	地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率92%	3.3	0.33	-	-	3.3
2	地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		—	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動		—	-	-	-	-	
	3	悪臭		—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		—	-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		No.1 光源は、総合効率の高いLED照明設備を採用 No.2 投光照明は、着色なしの昼光色を採用	5.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	3.0	2.0	○	－	○	○	○	－	－	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	7.0		○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		－	－	－	○		－	○		－	○	○	○	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		－	－	3.0	1.0	1.0	－	1.0	－	－	1.0	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0		－	1.0	2.0	3.0	－	2.0	－	－	1.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		1.0	－	－	－	3.0	1.0	－	1.0	－	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	－	1.0	－	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		－	1.0	1.0	－		1.0	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)		
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH
昼光率	7.0%			
自然換気有効開口面積率	6.8%			

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	64.6㎡ ツイン	64.9㎡
--------	--------	----	--------	------	-----------	-------

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	0.0 VA/㎡
---------	----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	0 m
-----	-----

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	15 年
--------	------

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20 年
--------	------

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	15 年
--------	------

3.1.1 階高のゆとり

階高	2.96 m
----	--------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	54.0%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	1800 N/m2
-----	-----------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	56%	建物緑化指数	7%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	43%	水平投影面積率	25%	地表面対策面積率	33%	舗装面積率	37%
-----	-----	---------	-----	----------	-----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	－	断熱等性能等級	等級3 相当
----------------------	---	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
--------------	---------	-----------	------	-----------	------

3 設備システムの高効率化

通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%
-----------	------	-----------	------

非住宅部分

太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
-----	------	------	------	-----	------

集合住宅の評価

BEI/BEI _m	再エネ有	－	無	－	オフサイト再エネ有	－	－
----------------------	------	---	---	---	-----------	---	---

一次エネ削減率	再エネ有	17%	無	17%			－
---------	------	-----	---	-----	--	--	---

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	675
---------------	---	--------------	-----

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	106%	隣棟間隔指標R _w	0.03
-------	------	----------------------	------

地表面対策面積率	60.8%	屋根面対策面積率	10.3%	外壁面対策面積率	0.0%
----------	-------	----------	-------	----------	------

見付面積S _b	790㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	39.68 m	基準高さH _b	18.7 m
--------------------	------	------------------------------	---------	--------------------	--------

緑地	104㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡
----	------	----	---	--------	---	--------	---	----------	---